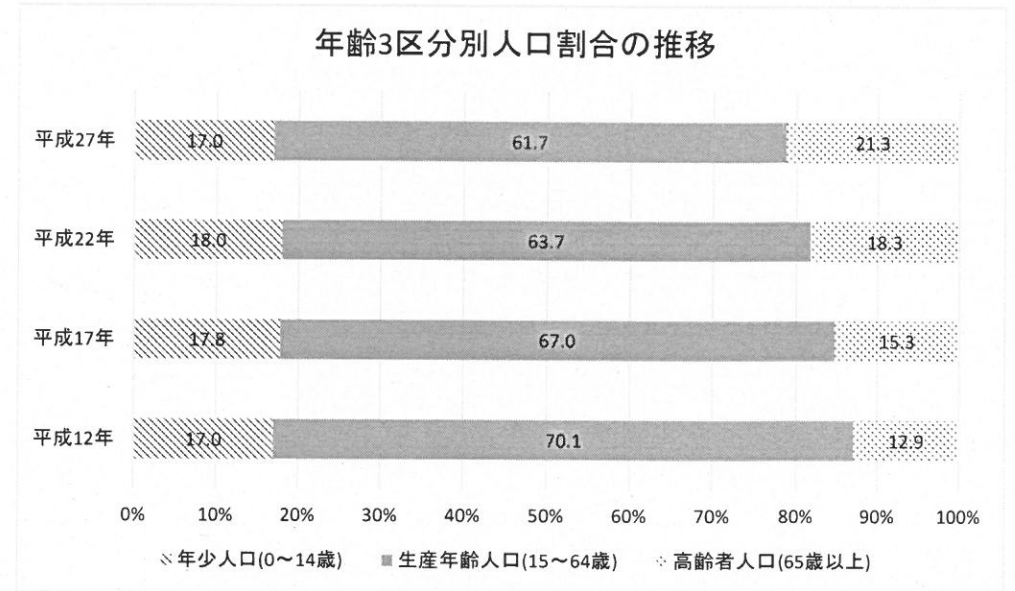
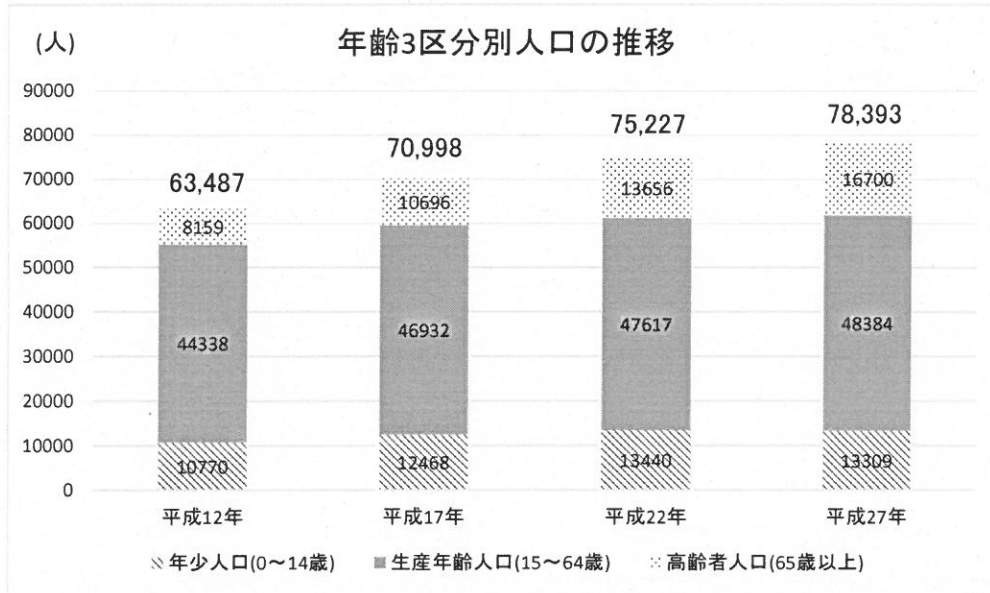


統計データからみた香芝市の現状

平成 28 年 10 月 26 日(水)

(1)少子・高齢人口及び出生率、未婚者の状況

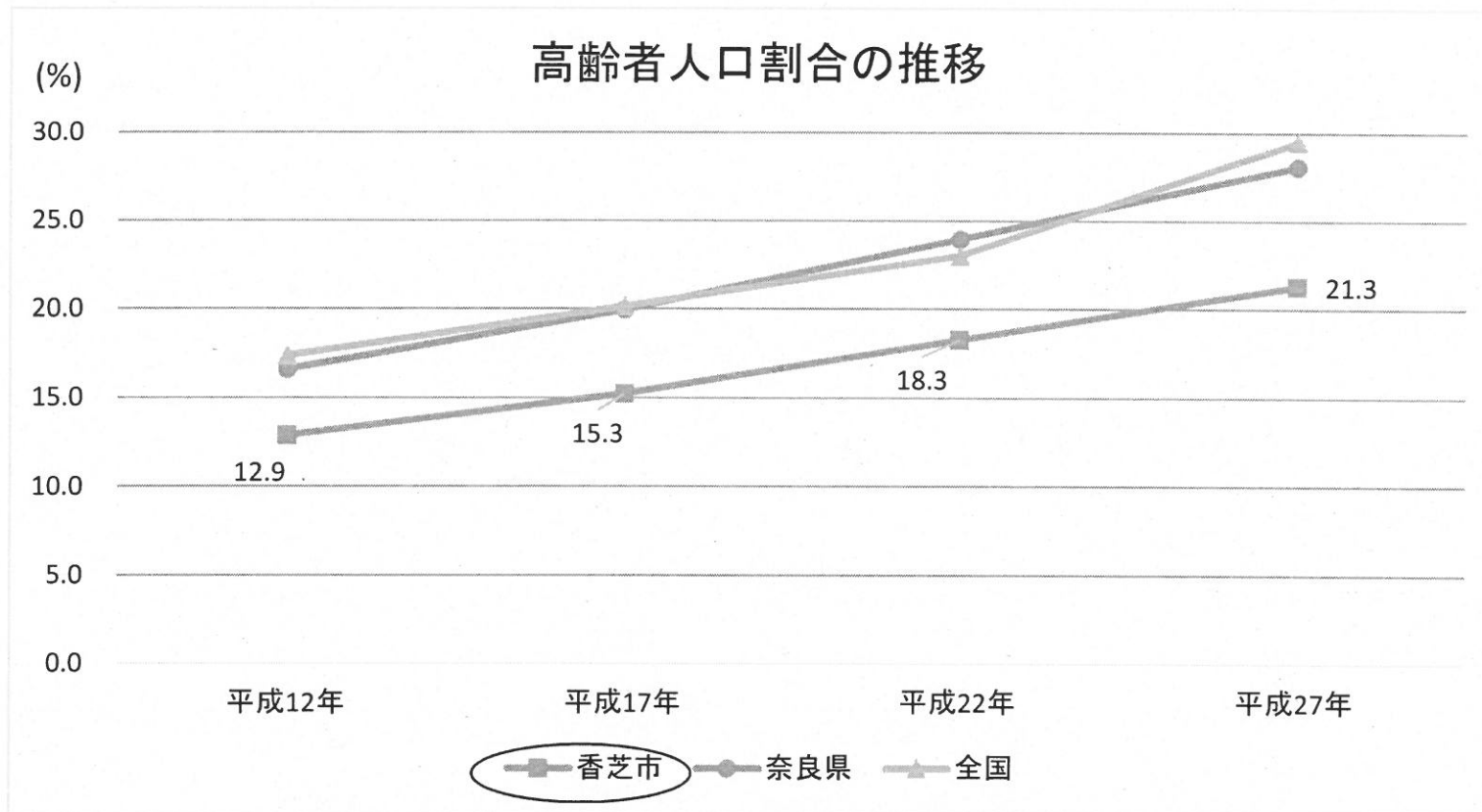
【年齢3区分別人口推移】



注) 総数には「不詳」を含むため、内訳を合計しても総数に一致しない。

出展：平成12~22年は国勢調査、平成27年は住民基本台帳(9月末時点)

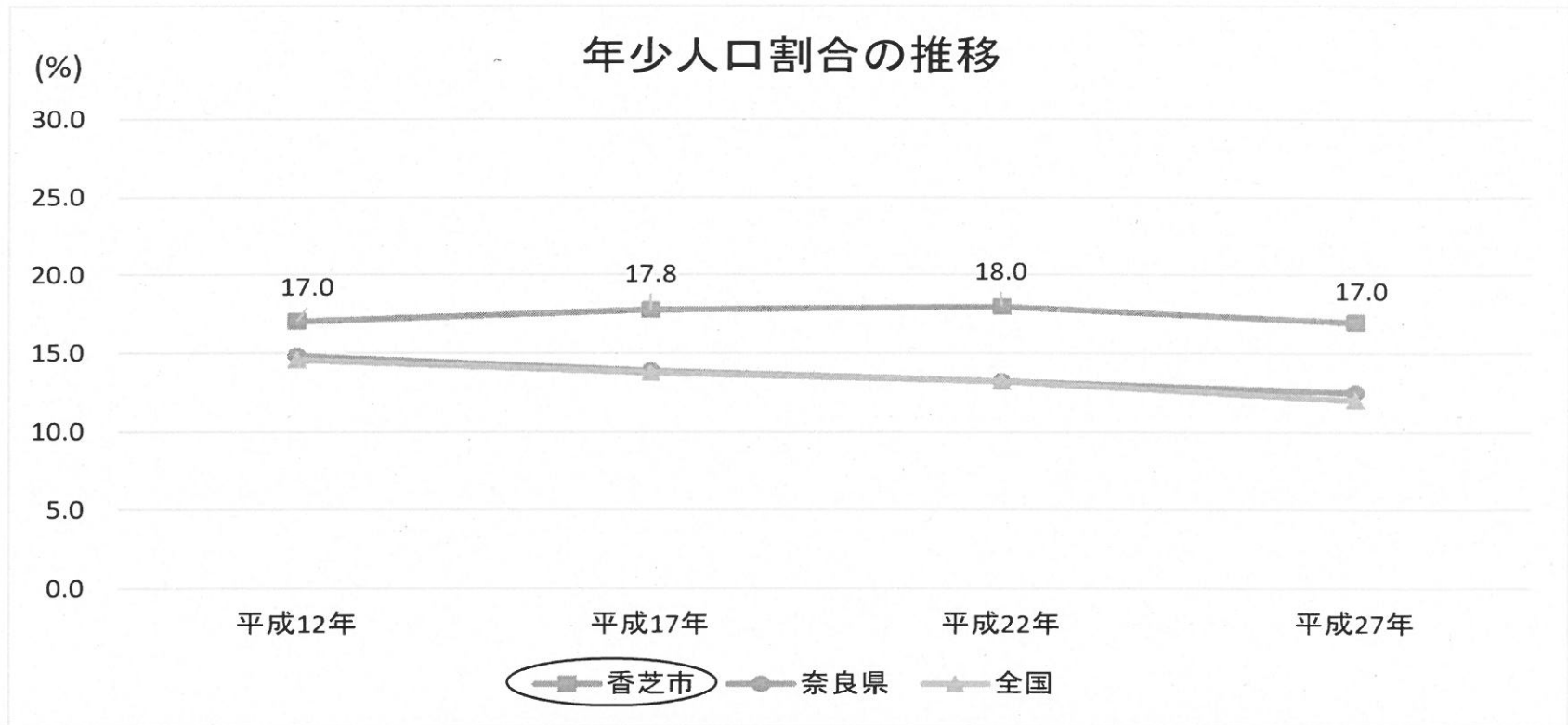
香芝市の人口は年々増加しており、平成27年では78,393人となっています。人口を3区分で分けると、15~64歳の生産年齢人口の割合が徐々に減少し、逆に65歳以上の高齢者人口の割合が徐々に増加しています。



年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
香芝市(%)	12.9	15.3	18.3	21.3
奈良県(%)	16.6	20.0	24.0	28.1
全国(%)	17.4	20.2	23.0	29.5

出展：平成12～22年は国勢調査、平成27年は総務省統計局(全国)及び住民基本台帳
 ※平成27年の奈良県は10月1日時点、香芝市は9月末時点の割合

香芝市の高齢者人口割合については全国平均・奈良県全体よりも低いものの、年ごとに増加傾向となっています。

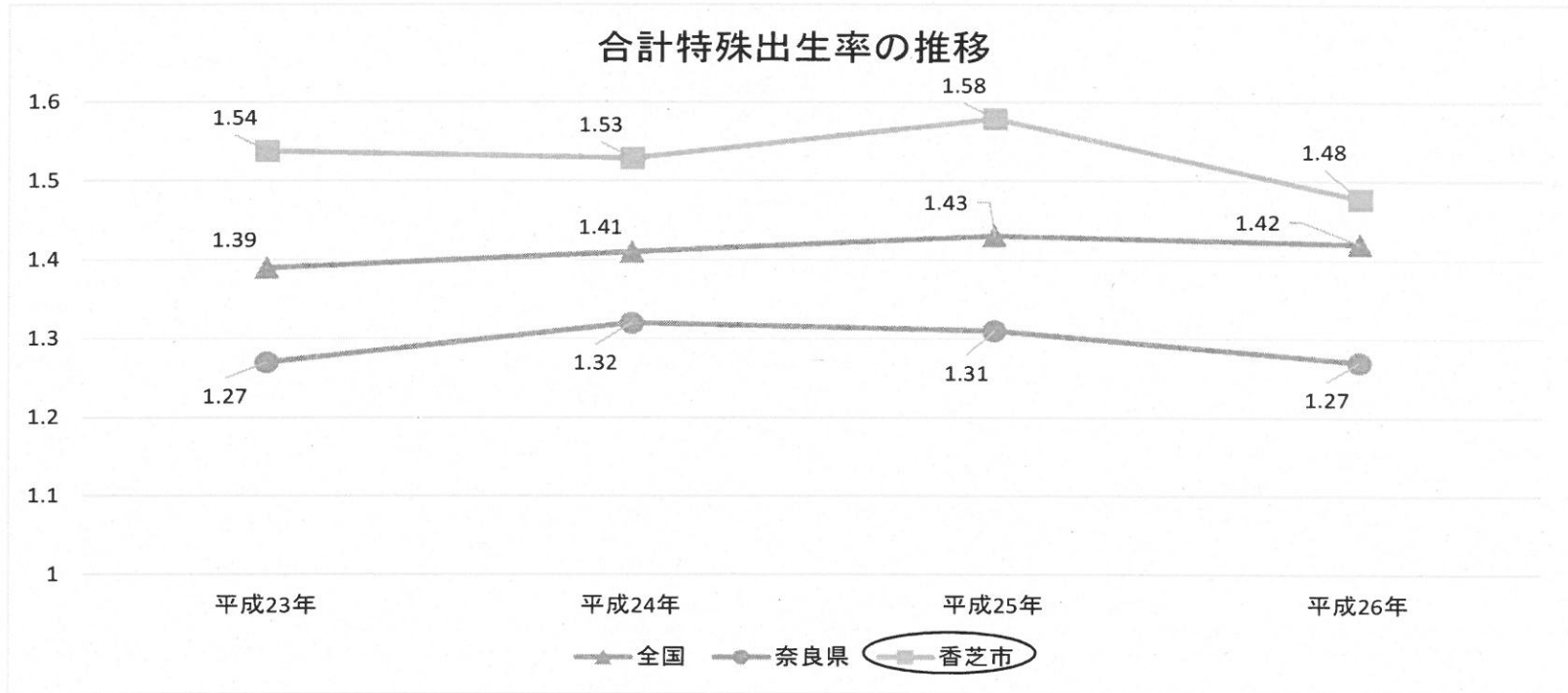


年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
香芝市	17.0	17.8	18.0	17.0
奈良県	14.8	13.9	13.2	12.5
全国	14.6	13.8	13.2	12.0

出展：平成 12～22 年は国勢調査、平成 27 年は総務省統計局(全国)及び住民基本台帳

※平成 27 年の奈良県は 10 月 1 日時点、香芝市は 9 月末時点の割合

一方、年少人口割合は全国平均・奈良県全体よりも高くなっており、変化もほぼ横ばいとなっています。

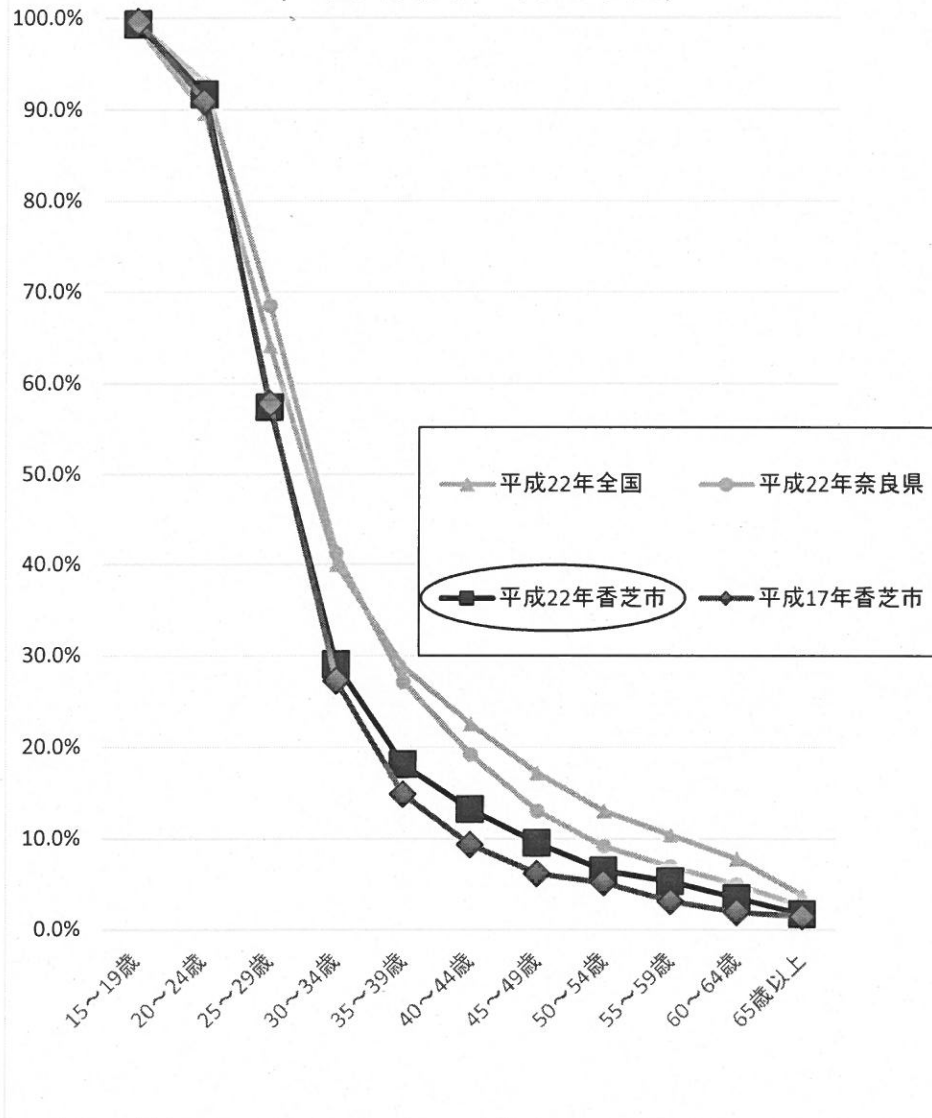


	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
全国	1.39	1.41	1.43	1.42
奈良県	1.27	1.32	1.31	1.27
香芝市	1.54	1.53	1.58	1.48

出展：全国・奈良県は厚生労働省人口動態統計、香芝市は奈良県保健統計年報

合計特殊出生率は、奈良県全体が全国平均を下回る一方、香芝市では全国平均を上回る数値となっています。

死別・離別を含まない未婚者の割合
(全国・奈良県・香芝市別)

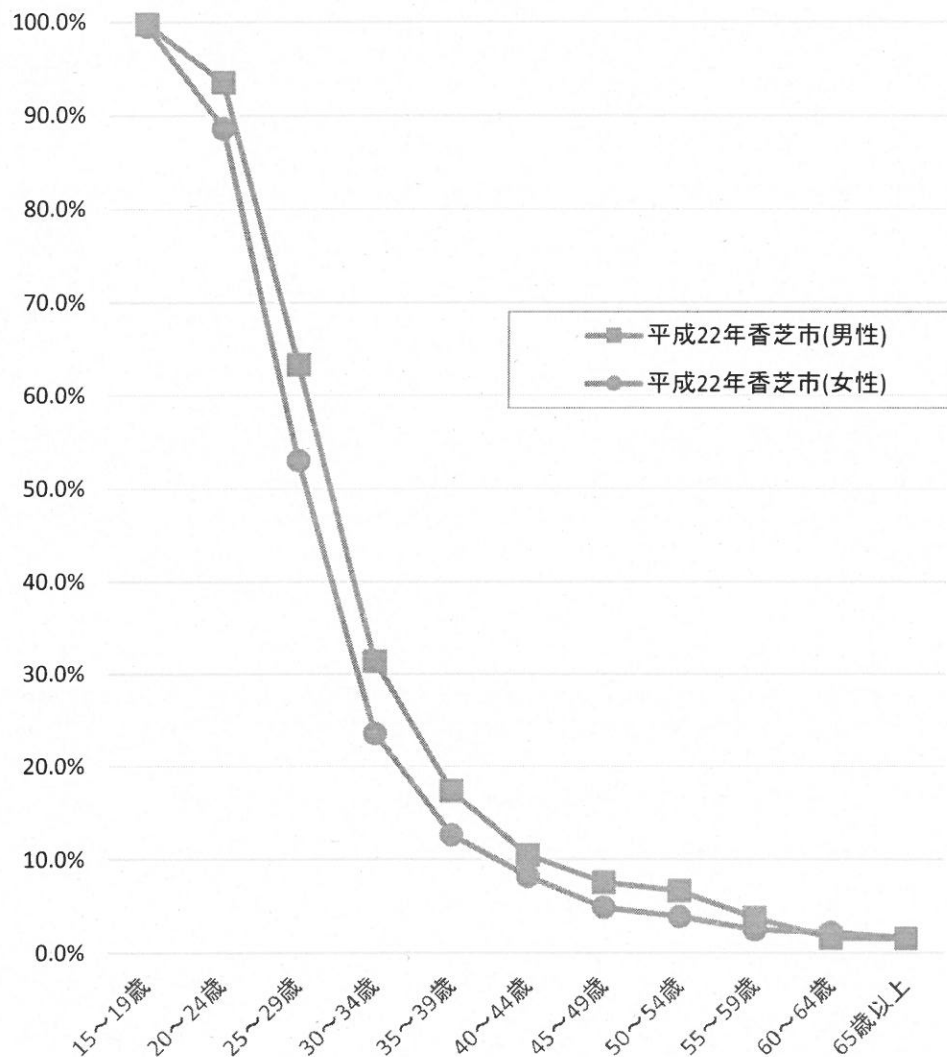


年齢	平成22年全国	平成22年奈良県	平成22年香芝市	平成17年香芝市
15～19歳	99.0%	99.4%	99.3%	99.6%
20～24歳	89.7%	92.9%	91.7%	90.9%
25～29歳	64.1%	68.5%	57.4%	57.8%
30～34歳	40.0%	41.3%	29.1%	27.3%
35～39歳	28.8%	27.2%	18.2%	14.9%
40～44歳	22.6%	19.2%	13.2%	9.4%
45～49歳	17.2%	13.0%	9.5%	6.2%
50～54歳	13.0%	9.2%	6.5%	5.2%
55～59歳	10.4%	7.0%	5.3%	3.1%
60～64歳	7.8%	5.0%	3.5%	1.9%
65歳以上	3.8%	2.6%	1.7%	1.5%

出展：平成17・22年国勢調査

未婚者について、香芝市は全国・奈良県よりも未婚者の割合は低いものの、平成17年に比べて平成22年には上がっています。

死別・離別を含まない未婚者の割合 (香芝市男女別)

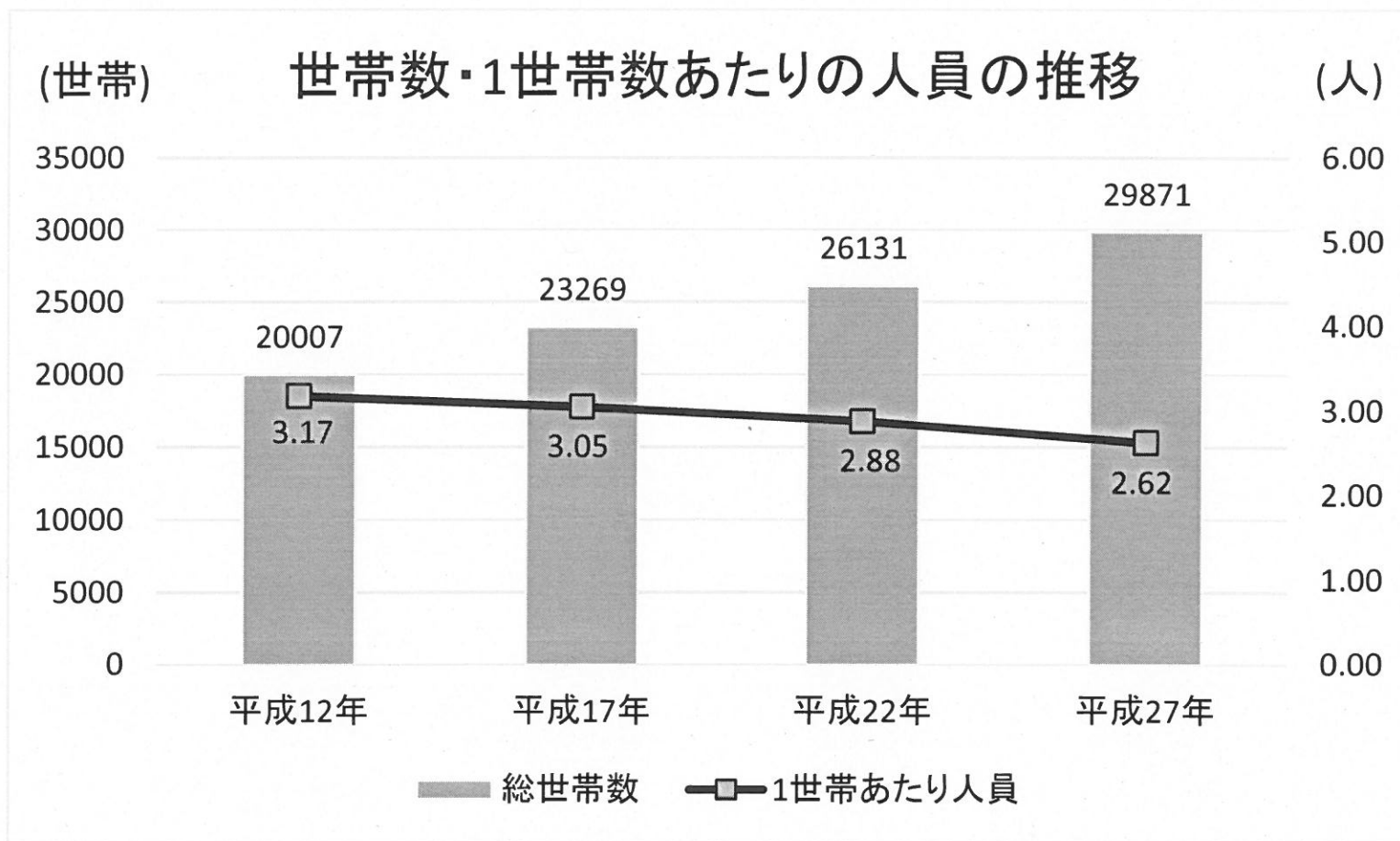


年齢	平成22年香芝市(男性)	平成22年香芝市(女性)
15～19歳	99.7%	99.5%
20～24歳	93.5%	88.6%
25～29歳	63.4%	53.0%
30～34歳	31.4%	23.6%
35～39歳	17.4%	12.7%
40～44歳	10.5%	8.2%
45～49歳	7.6%	4.9%
50～54歳	6.7%	3.9%
55～59歳	3.8%	2.5%
60～64歳	1.6%	2.2%
65歳以上	1.5%	1.6%

出展：平成 22 年国勢調査

また、香芝市の男女別で見ると、基本的に全ての年齢層で男性の方が女性よりも未婚者の割合がやや高くなっています。

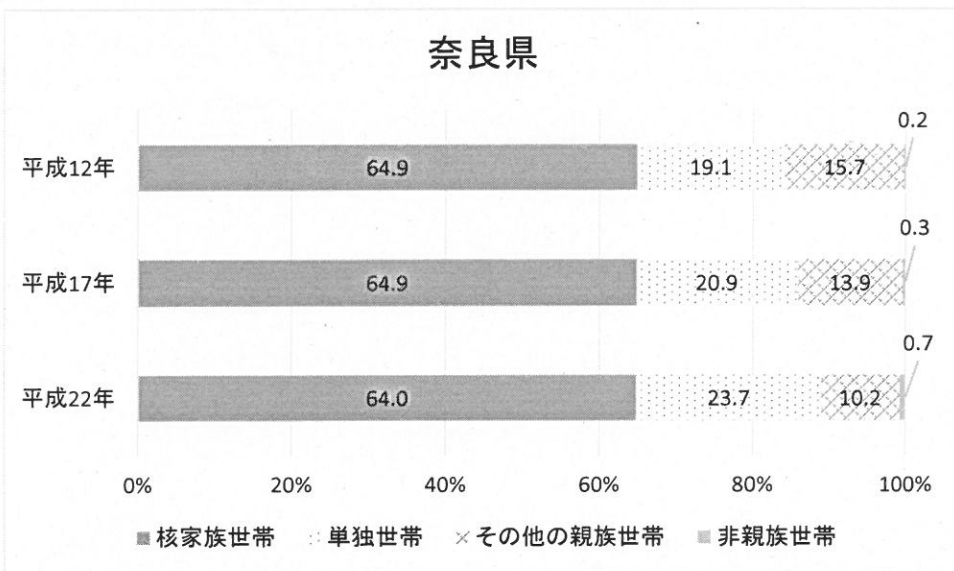
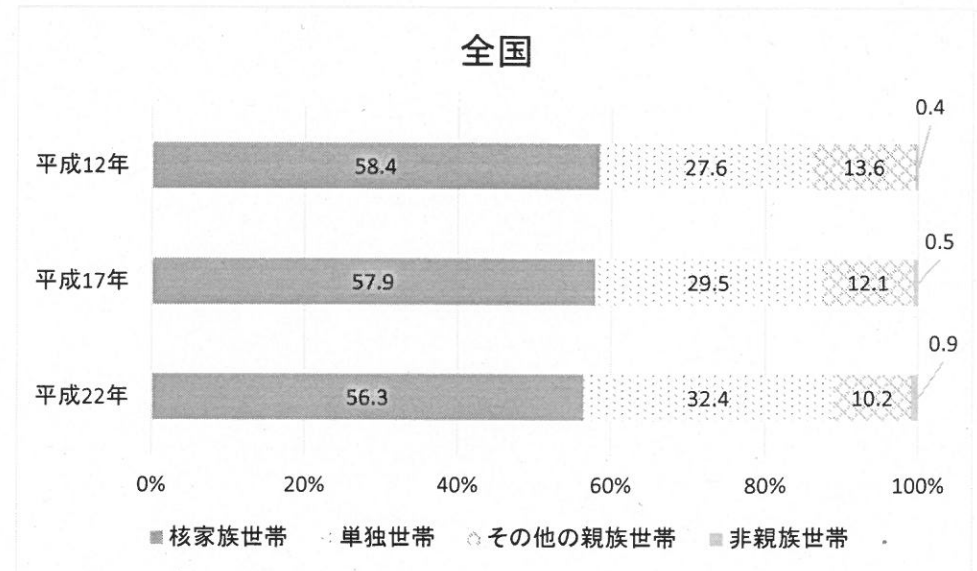
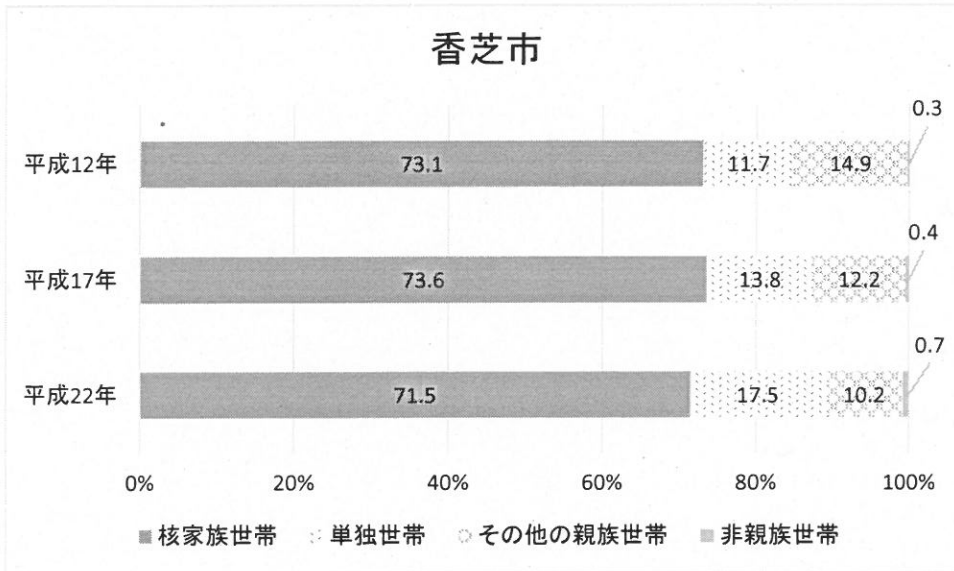
(2)世帯の状況



出展：平成 12～22 年は国勢調査、平成 27 年は住民基本台帳(9 月末時点)

総世帯数は年々増加している一方、1世帯あたり的人员は減少しており、世帯が小規模化していると考えられます。1世帯あたり的人员は平成22年には3人を下回っており、平成27年には2.62人となっています。

【一般世帯における世帯類型別割合の推移】



出展：平成12～22年国勢調査

香芝市の核家族の割合は平成22年で71.5%となっており、これは全国・奈良県よりも高い水準です。単独世帯については同じく平成22年で17.5%と、全国・奈良県と比較して低い水準ですが、平成12・17年と比較して徐々に上がりつつあります。



出展：平成 22 年国勢調査

香芝市の核家族世帯の割合については特に高く、奈良県内他市と比較しても最も高い割合となっています。

【世帯類型別構成比】

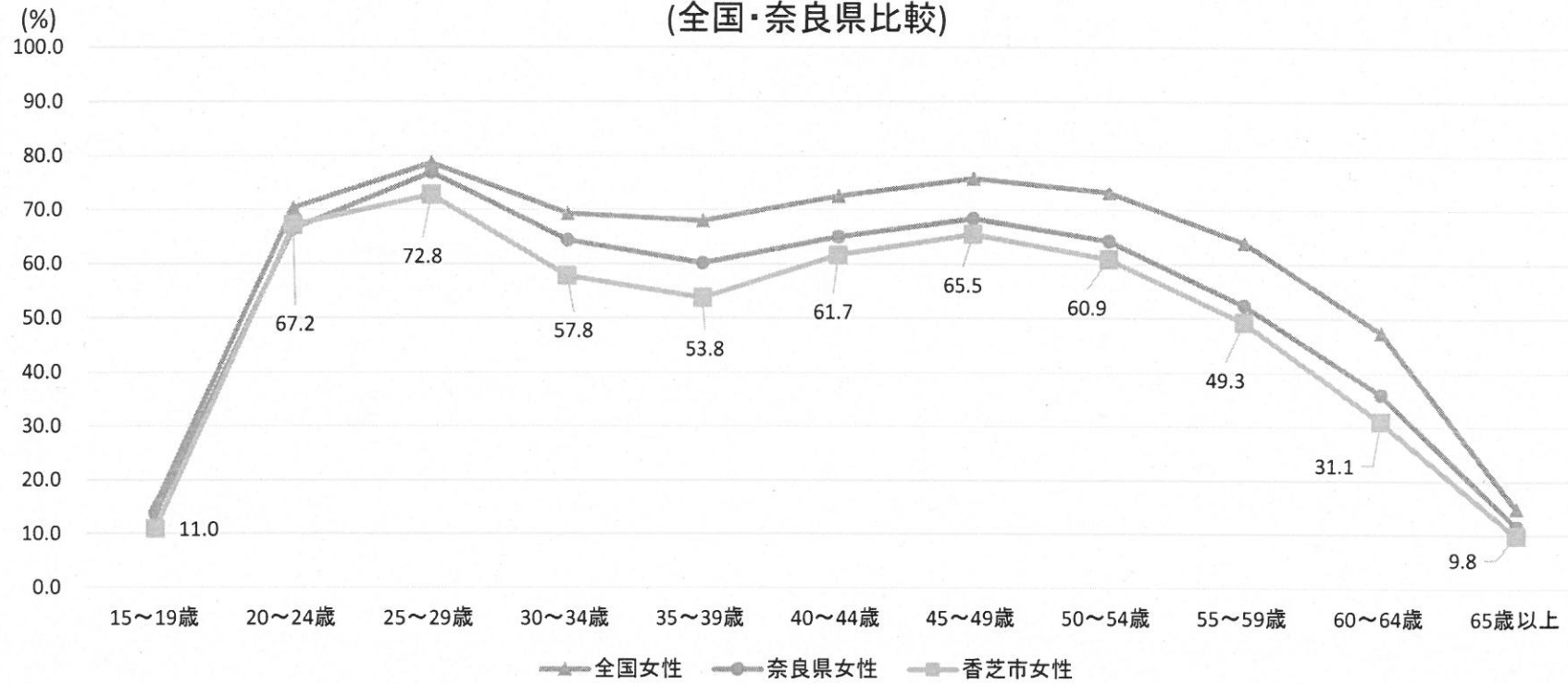
H22年度(%)		香芝市	奈良県	全国
単独世帯		17.5	23.7	32.4
夫婦のみ		21.1	22.3	19.8
親と子ども	夫婦と子ども	41.9	32.5	27.9
	女親と子ども	7.4	7.9	7.4
	男親と子ども	1.1	1.3	1.3
その他の親族世帯		10.2	11.6	10.2
非親族世帯		0.7	0.6	0.9
核家族(夫婦のみ+親と子ども)		71.5	64.0	56.3

出展：平成 22 年国勢調査

世帯類型別構成比で比較すると、香芝市は核家族の中でも「夫婦と子ども」の割合が最も高く、全国・奈良県と比較しても高い割合となっています。

(3)就労の状況

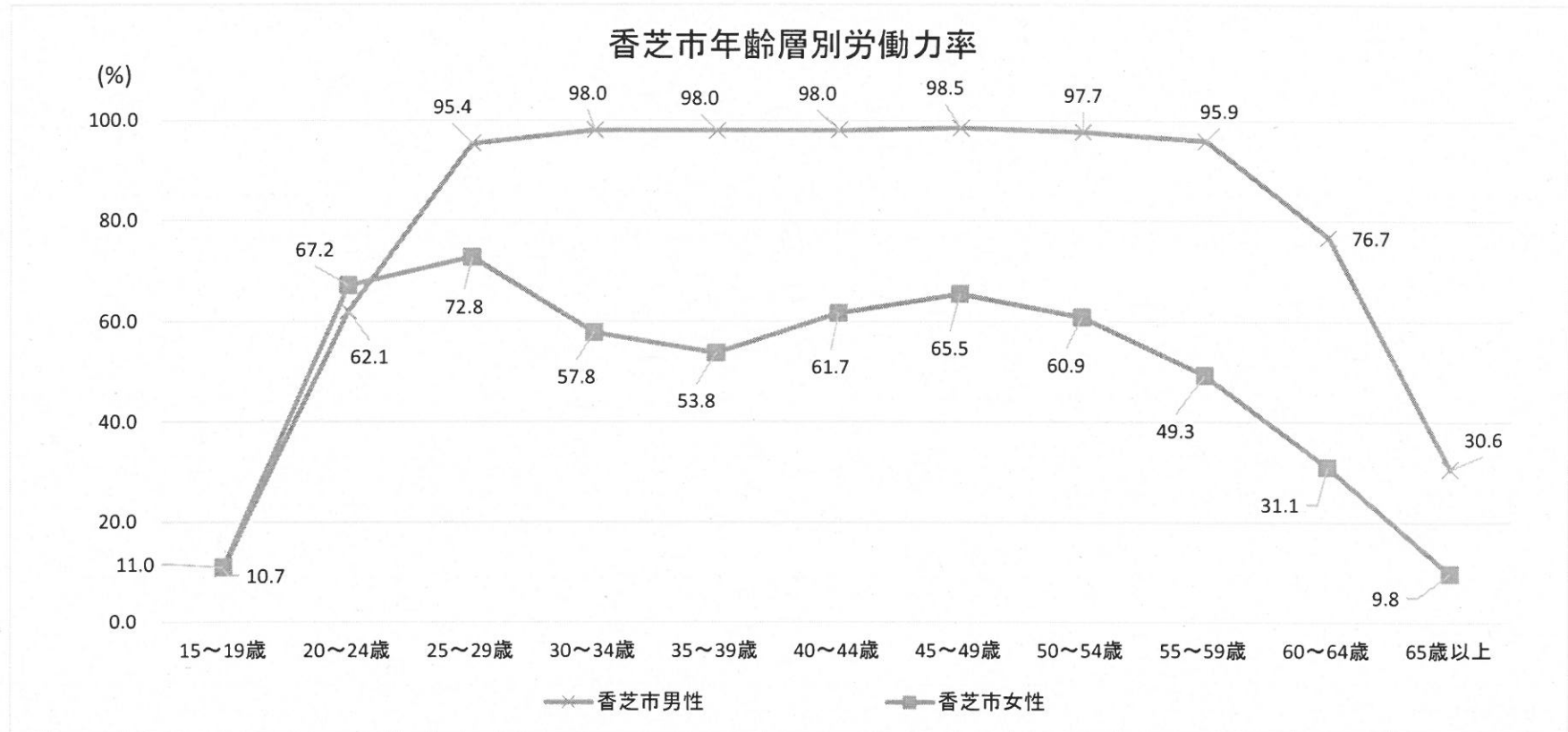
年齢階層別女性労働力率
(全国・奈良県比較)



労働力率	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65歳以上
全国女性(%)	15.4	70.4	78.7	69.4	68.0	72.5	75.8	73.2	63.9	47.5	14.9
奈良県女性(%)	13.8	66.4	77.0	64.4	60.2	65.1	68.4	64.3	52.4	36.1	11.6
香芝市女性(%)	11.0	67.2	72.8	57.8	53.8	61.7	65.5	60.9	49.3	31.1	9.8

出展：平成 22 年国勢調査

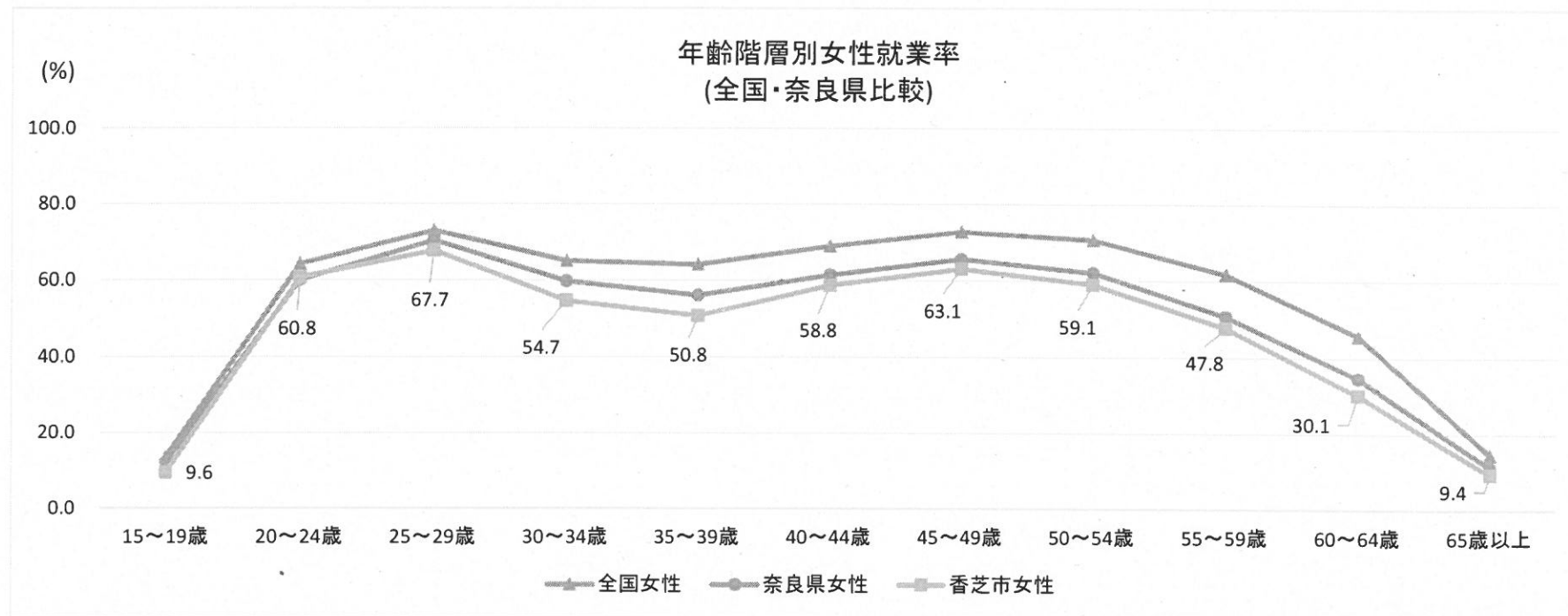
香芝市の女性の労働力率(15歳以上)について、全国平均・全体と比較してほぼ全ての年齢層で下回っています。



年齢	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65歳以上
香芝市男性(%)	10.7	62.1	95.4	98.0	98.0	98.0	98.5	97.7	95.9	76.7	30.6
香芝市女性(%)	11.0	67.2	72.8	57.8	53.8	61.7	65.5	60.9	49.3	31.1	9.8

出展：平成 22 年国勢調査

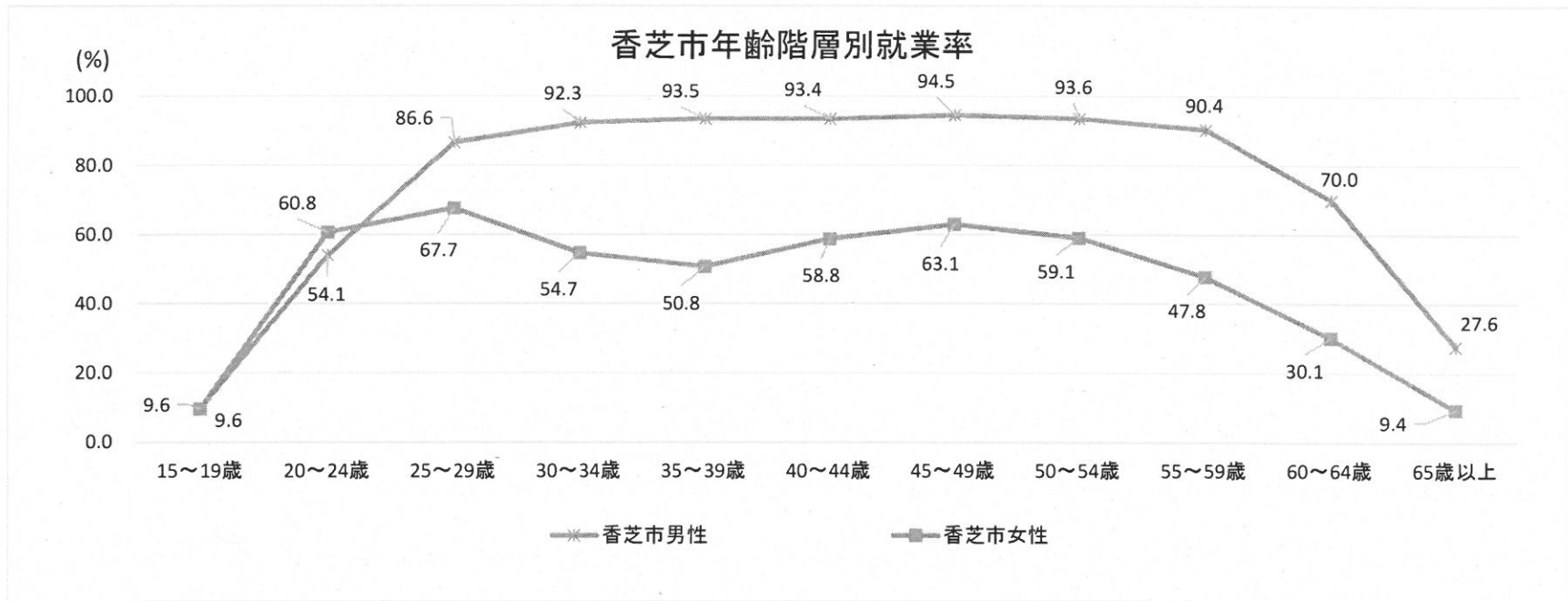
また、香芝市の女性と男性の労働力率を比較すると、20～24歳の層までは差がほとんどないものの、それより上の年齢層からは差が大きくなっていき、35～39歳の層では最もM字カーブの谷が深くなっています。



就業率	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65歳以上
全国女性(%)	13.7	64.3	73.0	65.0	64.2	69.0	72.8	70.7	61.8	45.7	14.6
奈良県女性(%)	12.3	60.1	70.4	59.7	56.2	61.5	65.6	62.1	50.8	34.6	11.3
香芝市女性(%)	9.6	60.8	67.7	54.7	50.8	58.8	63.1	59.1	47.8	30.1	9.4

出展：平成 22 年国勢調査

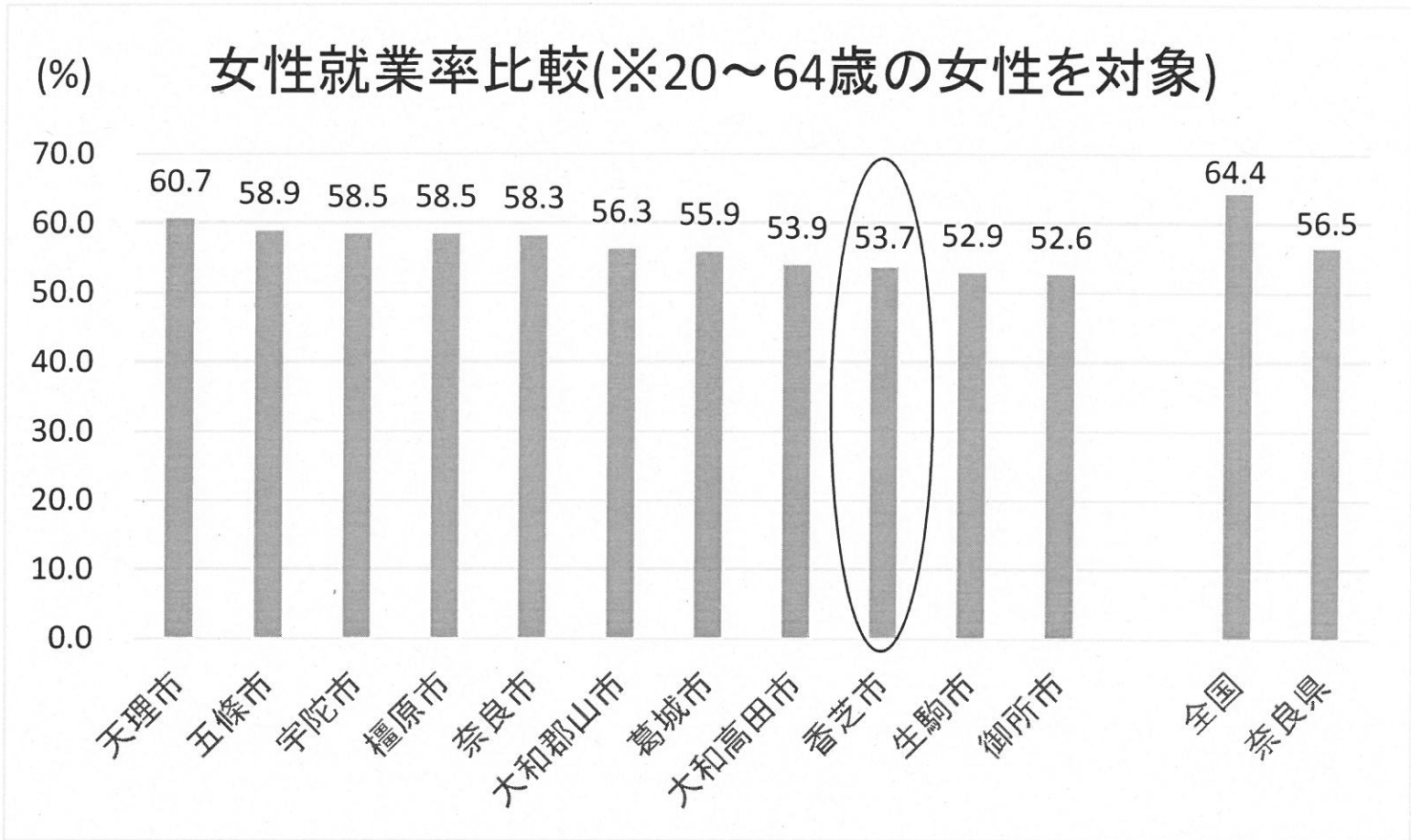
香芝市の女性の就業率(15 歳以上)について、労働力率と同じく、全国平均・全体と比較してほぼ全ての年齢層で下回っています。



就業率	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65歳以上
香芝市男性(%)	9.6	54.1	86.6	92.3	93.5	93.4	94.5	93.6	90.4	70.0	27.6
香芝市女性(%)	9.6	60.8	67.7	54.7	50.8	58.8	63.1	59.1	47.8	30.1	9.4

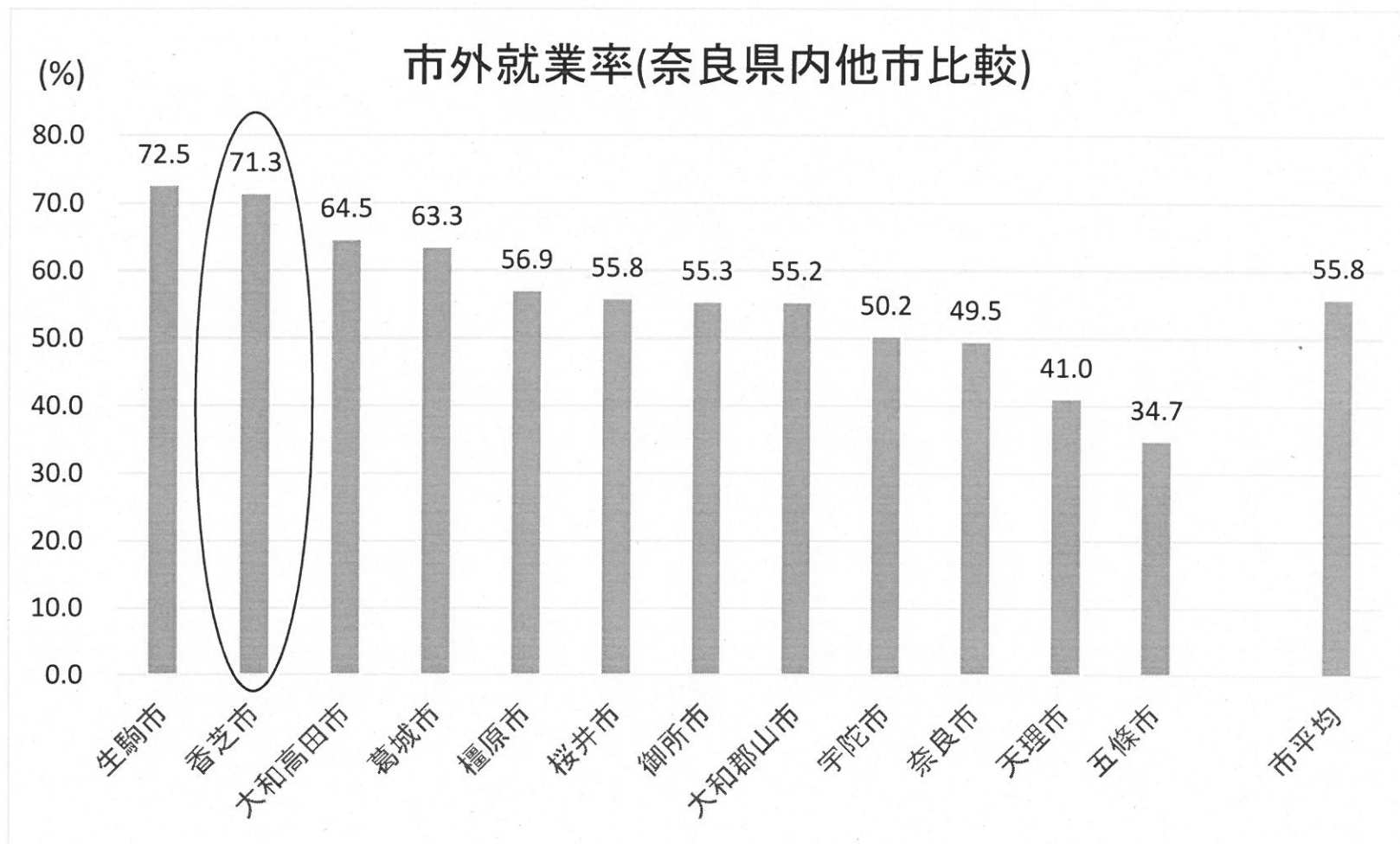
出展：平成 22 年国勢調査

また、香芝市の女性と男性の就業率を比較すると、これも労働力率と同じく 20～24 歳の層までは差がほとんどないものの、それより上の年齢層からは差が大きくなっていき、35～39 歳の層では最も M 字カーブの谷が深くなっています。



出展：平成 22 年国勢調査

20～64 歳の女性の就業率を比較すると、全国が 64.4%に比べ、奈良県は 56.5%であり、これは全国の都道府県の中でも最下位です。香芝市は奈良県全体の中でもさらに低い 53.7%であり、県内他市と比較しても下から 3 番目に低い就業率となっています。



出展:平成 22 年国勢調査

香芝市の市外就業率は 71.3%であり、奈良県内他市と比較しても上から 2 番目と非常に高い割合となっています。

【香芝市就業者の市外就業先上位 10 自治体】

①男女合計

順位	自治体名	就業者数
1	大阪市	6,921
2	八尾市	1,262
3	橿原市	1,158
4	大和高田市	1,137
5	東大阪市	1,015
6	柏原市	851
7	奈良市	808
8	広陵町	801
9	葛城市	666
10	大和郡山市	595
参考	香芝市	8,390

②男性

順位	自治体名	就業者数
1	大阪市	4,899
2	八尾市	862
3	東大阪市	745
4	橿原市	645
5	奈良市	566
6	柏原市	551
7	大和高田市	526
8	大和郡山市	446
9	葛城市	423
10	広陵町	327
参考	香芝市	3,591

③女性

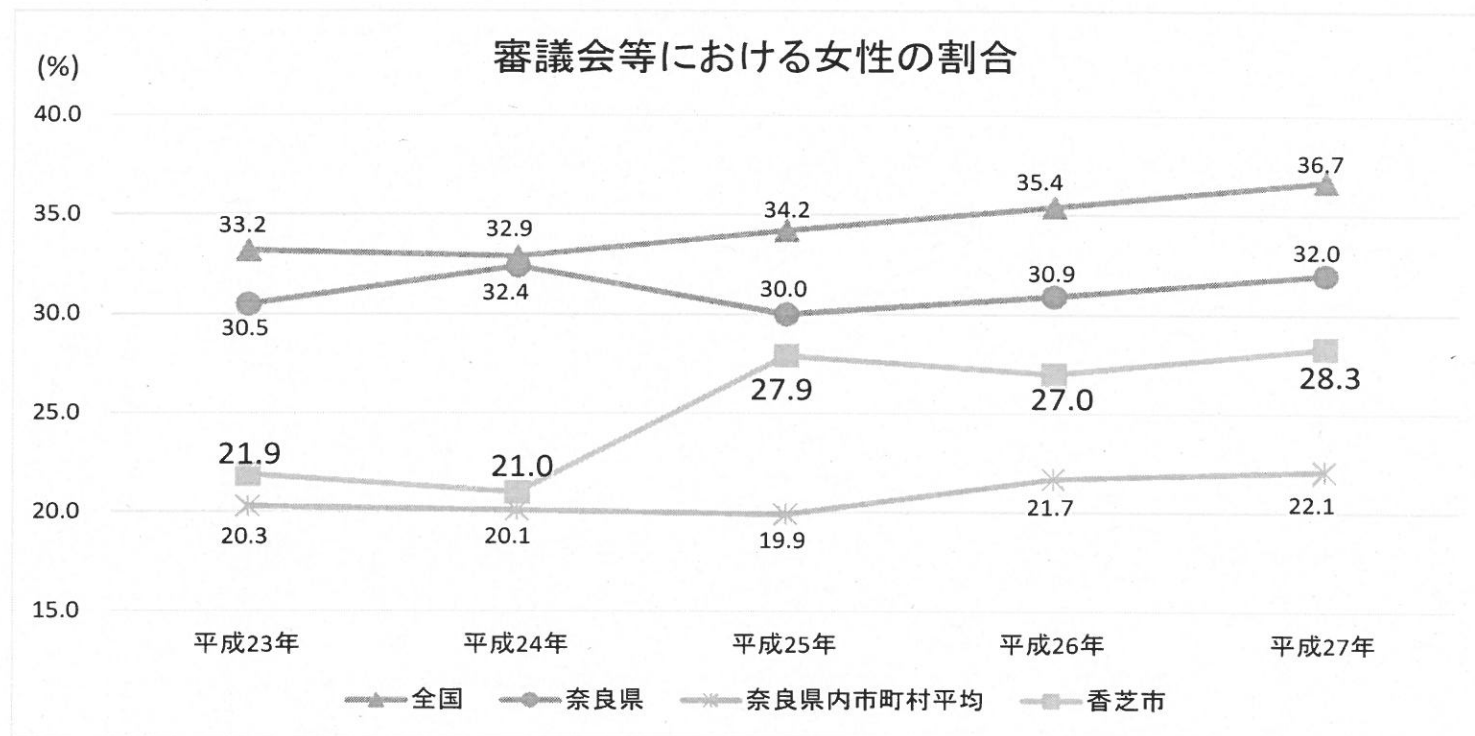
順位	自治体名	就業者数
1	大阪市	2,022
2	大和高田市	611
3	橿原市	513
4	広陵町	474
5	八尾市	400
6	上牧町	341
7	柏原市	300
8	東大阪市	270
9	葛城市	243
10	奈良市	242
参考	香芝市	4,799

出展：平成 22 年国勢調査

香芝市就業者の市外就業先については、男女共に大阪市への就業者数(男性 4,899 人、女性 2,022 人)が圧倒的に多いです。男性は大阪市に続き、八尾市(862 人)、東大阪市(745 人)と大阪府への就業が多い一方、女性は大和高田市(611 人)、橿原市(513 人)と香芝市近隣の自治体への就業が多くなっています。

また、香芝市の就業率は男性の方が高いものの、香芝市内就業者数については男性(3,591 人)よりも女性(4,799 人)の方が多くなっています。

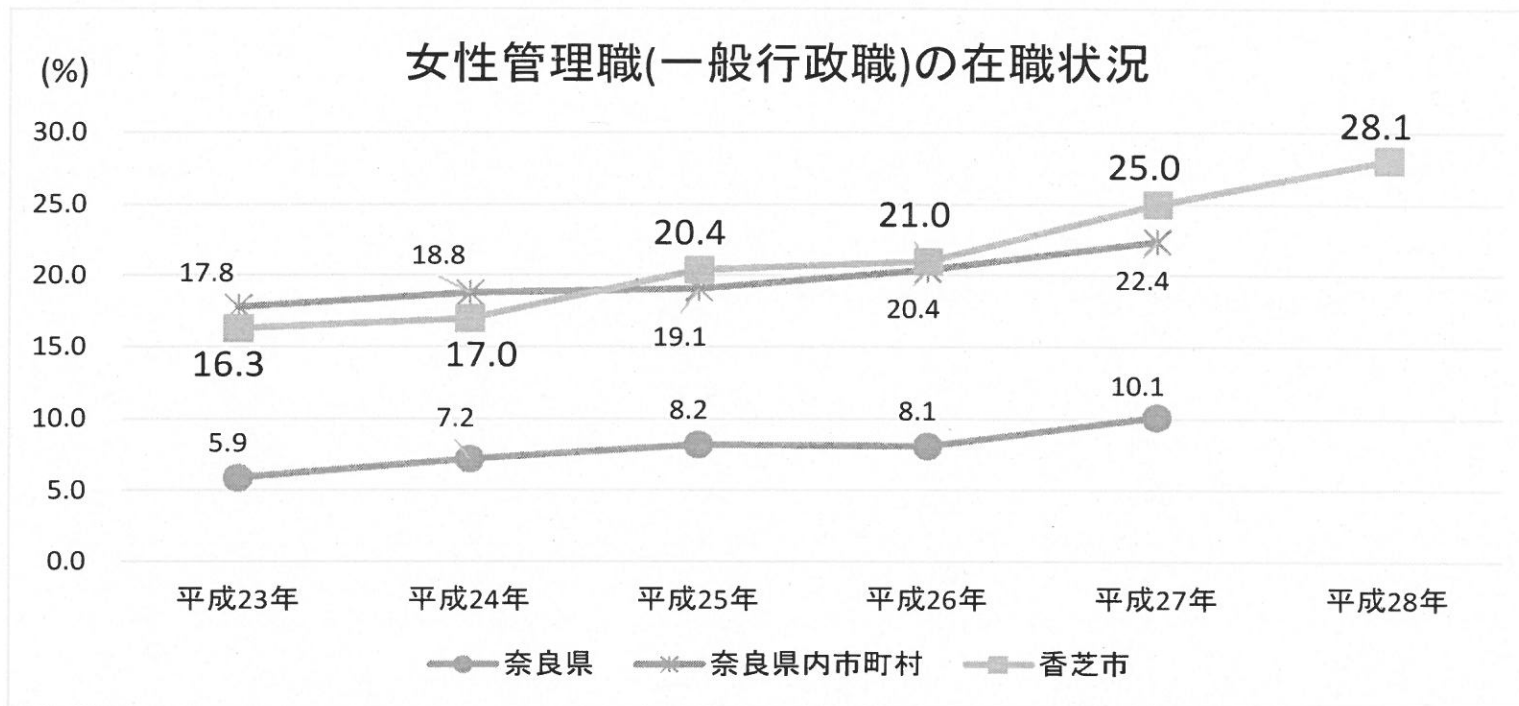
(4)政策・方針決定過程における
男女共同参画の状況



	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
委員総数 香芝市(人)	1081	876	749	638	591
女性委員数 香芝市(人)	237	184	209	172	167
女性割合(%)	21.9	21.0	27.9	27.0	28.3

出展：男女共同参画局、奈良県女性の輝き・活躍促進計画、香芝市

審議会等における女性の割合については全国平均、奈良県全体よりも下回っていますが、徐々に増加傾向となっており、まずは平成32年の目標値である30%を目指しています。



	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
香芝市管理職数(人)	49	47	54	62	60	57
香芝市女性管理職数(人)	8	8	11	13	15	16
女性割合(%)	16.3	17.0	20.4	21.0	25.0	28.1

出展：男女共同参画局、奈良県女性の輝き・活躍促進計画、香芝市

管理職(一般行政職)の女性在職状況は奈良県内市町村の平均値よりも高く、増加傾向となっています。

(5)まとめ

(1)少子・高齢人口及び出生率、未婚者の状況について

- ・年々増加傾向にある。特に老年人口(65歳以上)の割合が増加し、生産年齢人口(15～64歳)の割合が減少している。
- ・老年人口の割合は全国・奈良県と比較して低く、年少人口(0～14歳)の割合は全国・奈良県と比較して高い。
- ・合計特殊出生率は全国奈良県と比較して高く、未婚者の割合は少ない。

(2)世帯の状況

- ・総世帯数は増加している一方、1世帯あたりの人員は減少している。
- ・核家族の割合は全国・奈良県と比較して大幅に高く、奈良県内他市と比較しても最も高い。
- ・単独世帯は全国・奈良県と比較して低い。

(3)就労の状況

- ・女性労働力率、就業率について全国・奈良県と比較してほぼ全ての年齢層で下回っている。
- ・20～64歳の女性就業率を奈良県他市で比較しても下から3番目に低い。
- ・女性労働力率、就業率で35～39歳の層が最もM字カーブの谷が深くなっている。
- ・市外就業率が他市で比較しても上から2番目に高いが、女性は男性と比較して市内就業者数の方が高い。

(4)政策・方針決定過程における男女共同参画の状況

- ・審議会等における女性割合は全国・奈良県よりも下回っているが、徐々に増加傾向である。
- ・管理職(一般行政職)の女性在職状況は奈良県内市町村の平均値よりも高く、増加傾向である。